

1期生 活動紹介

6人でスタートした1期生は、「未利用魚×6次産業」をテーマにした古賀郁美さんと「地域×若者起業支援」テーマにした石橋孝太郎さんが卒業し、現在、4人が活動しています。4人が市内で活動する姿を見かけることも多くなってきました。

観光×サイクリングプロジェクト 福田 学

三陸の豊かな自然環境や魅力的な食や文化、暮らしなどを体験するサイクリングガイド事業「さんクル（三陸×サイクル）Kamaishi」を展開しながら、現在は市内の観光プログラムと連携したコースの開発や、モニターツアーを実施しています。



サイクリングしながら市内をガイド



尾崎白浜の漁協女性部と連携したサイクリングツアー

里海ダイビングプロジェクト 吉野 和也

釜石の魅力的な海の自然を活用したレジャーダイビング事業の実施に向けた環境作りや、沿岸地域で問題となっている磯焼け対策に取り組んでいます。三陸の海の魅力を伝える里海ダイビング事業のメッカとして、多くの人が釜石を訪れるように活動を積み重ねています。



環境保全をテーマにしたダイビング体験



養殖のカキを見学

自然保育プロジェクト 深澤 鮎美

釜石の豊かな自然環境を生かし、子どもの自主性や発想力、協調性を育む「自然あそび広場 にここ」を立ち上げました。親子イベントを開催し、子ども支援団体と連携を図りながら活動しています。今後はパーマカルチャー（人と自然が共に豊かになるデザイン手法）と自然保育をテーマに活動をさらに広げていきます。



こすもす公園での絵本読み聞かせ



甲子川で川遊び体験

観光地域づくり×ブランド化 細江 絵梨

鵜住居町根浜地区が世界中からたくさんの方が訪れる「持続可能な学びの観光地」となることを目指して、地元の一社）根浜MINDと連携し、防災・減災活動や観光体験プログラムの企画運営、広報活動を行っています。



根浜海岸で開催された「海あそび」でスタッフとして活躍



根浜海岸で開催された「海あそび」でスタッフとして活躍

〈釜石ローカルベンチャーコミュニティの活動拠点 [co-ba kamaishi marudai]〉

今年5月に釜石大観音仲見世通りの空き家をリノベーションして完成した、シェアオフィス・コワーキングスペース「co-ba kamaishi marudai」。個人事業主の集まる拠点として、この場を活用し、月に1度の会議や勉強会などを実施しています。



釜石ローカルベンチャーコミュニティ事務局が支えます

釜石ローカルベンチャーコミュニティの事務局は、(株)パソナ東北創生が担当し、市内外の事業者と連携して、メンバーの事業化に向けたサポートを実施しています。

事業実施計画へのアドバイスや、先輩起業家との勉強会の開催、地域の人との交流会などを実施し、それぞれの事業を成功に導くためのさまざまな機会を設けています。

また、釜石に興味を持つ首都圏人材向けの釜石体験ツアーを開催し、釜石に関わる機会の創出にも取り組んでいます。



東京交流イベント



起業家を招いた勉強会

問い合わせ

市オープンシティ推進室 戦略推進係 ☎27-8463

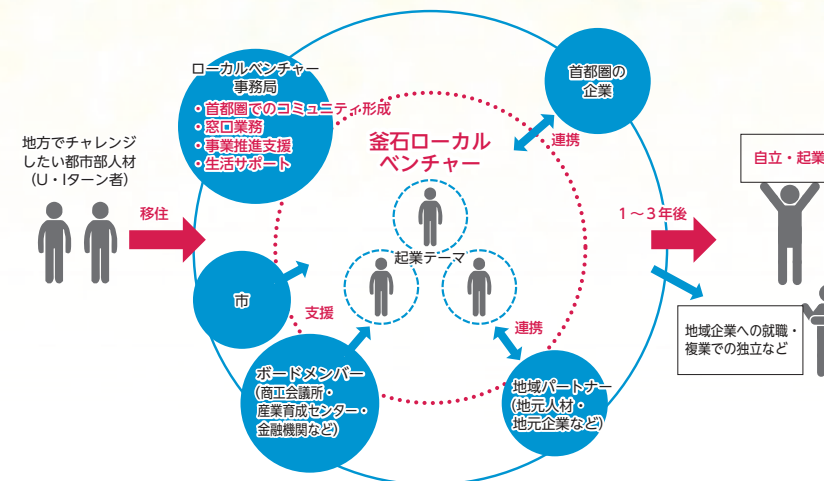
釜石ローカルベンチャーコミュニティ事務局（(株)パソナ東北創生）✉ info.kamaishilv@gmail.com

釜石ローカルベンチャーコミュニティ 2期生の着任と1期生の活動について

KAMAISHI
LOCAL
VENTURE
COMMUNITY



釜石ローカルベンチャーコミュニティの仕組み



■釜石ローカルベンチャーとは？

釜石に眠る魅力や資源を活用した新規事業の創出によって、地域経済に新たな価値を創出すると共に、釜石を応援したいと思う地域内外の人材や企業とのネットワークを形成していきます。

釜石に多様な人材が集うネットワークをつくり、新たなアイデアやビジネスが生まれ続け、地域経済が成長し続ける、持続可能な地域となることを目指しています。

2期生の紹介



神脇 隼人

出身地：千葉県佐倉市

年齢：30歳

プロジェクト：釜石大観音仲見世リノベーションプロジェクト

釜石でやりたいこと：釜石大観音仲見世商店街周辺での場づくり・モノづくり・コトづくりに取り組みます。まずは釜石で生まれた

金属「コバリオン」を活用したジュエリー工房兼ショップの立ち上げに挑戦しながら、不動産開発会社での経験を生かし、仲見世商店街周辺を盛り上げるためのさまざまな企画に取り組んでいきます。



松浦 朋子

出身地：岐阜県岐阜市

年齢：36歳

プロジェクト：地域ブランディングプロジェクト

釜石でやりたいこと：釜石の魅力的な人たちに惹かれ、移住しました。広報やプロモーションの経験を生かし、釜石の魅力的でパワフルな生産者や事業者の皆さんと連携して、地域発の新品やサービスの開発・販売を行います。釜石の知名度をさらに上げ、実際に訪れる人が増えるような仕組みを作りたいです。



あずまや 東谷 いずみ

出身地：大槌町

年齢：24歳

プロジェクト：釜石大観音仲見世リノベーションプロジェクト

釜石でやりたいこと：仙台で行われた釜石のPRイベントに参加し、釜石で活動してみたいと思いました。「人と人、地域とがつながる場づくり」の形として、仲見世商店街でゲストハウスの開業を目指しています。まずはその一歩として、民家を改修し、9月から民泊「あずま家」をスタートさせました。地域に根付いた場となるように、地域の皆さんとの関わりを大切に一つ一つ丁寧に進めていきます。



今井 のどか

出身地：広島県三次市

年齢：37歳

プロジェクト：地域ブランディングプロジェクト

釜石でやりたいこと：これまで培ったデザインの経験やスキルを生かし、未利用魚や流通に乗らない農産物などの資源を活用した新しい商品を企画、開発、販売していきます。地域の生産者や事業者の皆さんと連携して、新たな「釜石ブランド」を作ること、たくさんの人に釜石の魅力を知ってもらうことに貢献したいです。